

# 実践例：小学校算数



ICT活用の場面及び機能とよさをチェック!

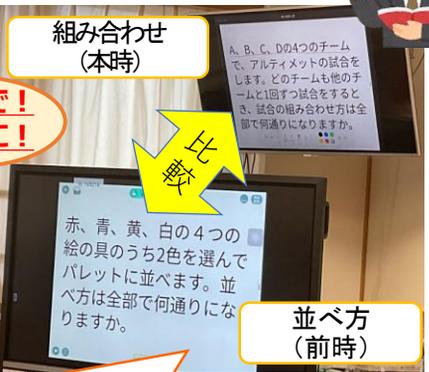
## 単位時間の学習例：第6学年「場合の数」

1. 前時の学習と比較し、本時の問題とめあてをつかむ。  
めあて：組み合わせは並べ方の数え方と違いがあるのだろうか。

□提示・配布機能



映像を提示し、問題場面を具体的に捉えさせる。



組み合わせ (本時)

並べ方 (前時)

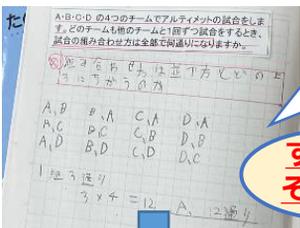
短時間で！  
効率的に！

比較

本時の問題に加えて、前時の並べ方の問題も提示し、数え方の違いに着目させる。

2. 個別に組み合わせの求め方を考える。

□撮影・録音・再生機能



書き出し、樹形図、対戦表などを用いた解決方法をノートに表現し、ノートを撮影して提出させる。

すぐに！  
その場で！

3. 組み合わせの求め方を共有し、重なるの考えに焦点化する。

□一覧表示機能



瞬時に！  
全員の！

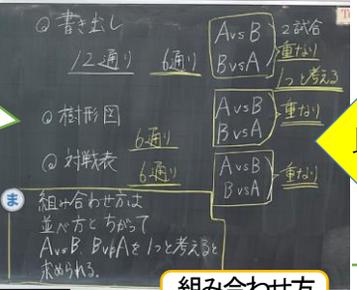
友達の考えを一覧で確認させる。

書き出し、樹形図、対戦表を用いた数え方を、書き込みながら、全体で共有させる。



全体で共有した考えを配布し、個人でも繰り返し説明させる。

考え方の共通点を問いかけて、重なりを1つと考えることを板書に残す。



並べ方 (前時)

比較

4. 並べ方と比較し、順序性が重なるの数え方に関わることをまとめ、振り返りをする。

□データの保存・提出機能

□撮影・録音・再生機能



組み合わせ方 (本時)

いつでも！  
手軽に！

前時の画像を提示して並べ方の時は重複する箇所を消さない理由を問いかけ、場面と関連付けて重なるの有無を意識させる。

本時の気づきや振り返りを書き加えたノートを撮影して保存・提出させる。

【児童の振り返りより】  
組み合わせ方は並べ方と違ってAvsBとBvsAが同じだから、重なりになり、樹形図や表で片方を消すことが分かった。